

# 岡山県生涯学習審議会及び岡山県社会教育委員の会議

## 第3回会議

### 本日の審議の進め方

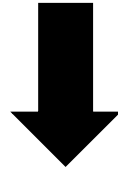
---

1. 前回会議を受けて
  - ・ テーマについて
  - ・ 議論の観点について
2. 実践発表  
井原市教育委員会学校教育課（兼）生涯学習課  
参事 藤井 剛 氏
3. 審議  
子どもの学びを通じた持続可能な地域づくりに  
向けた社会教育主事の取組

## 第2回会議の内容について

### 第1回会議提案テーマ

持続可能な地域づくりに向けた  
社会教育主事・社会教育士の取組



### 第2回会議提案テーマ

子どもの学びを通じた持続可能な地域づくり  
～社会教育主事・社会教育士の取組～

## 第2回会議の内容について



## 第2回会議の内容について

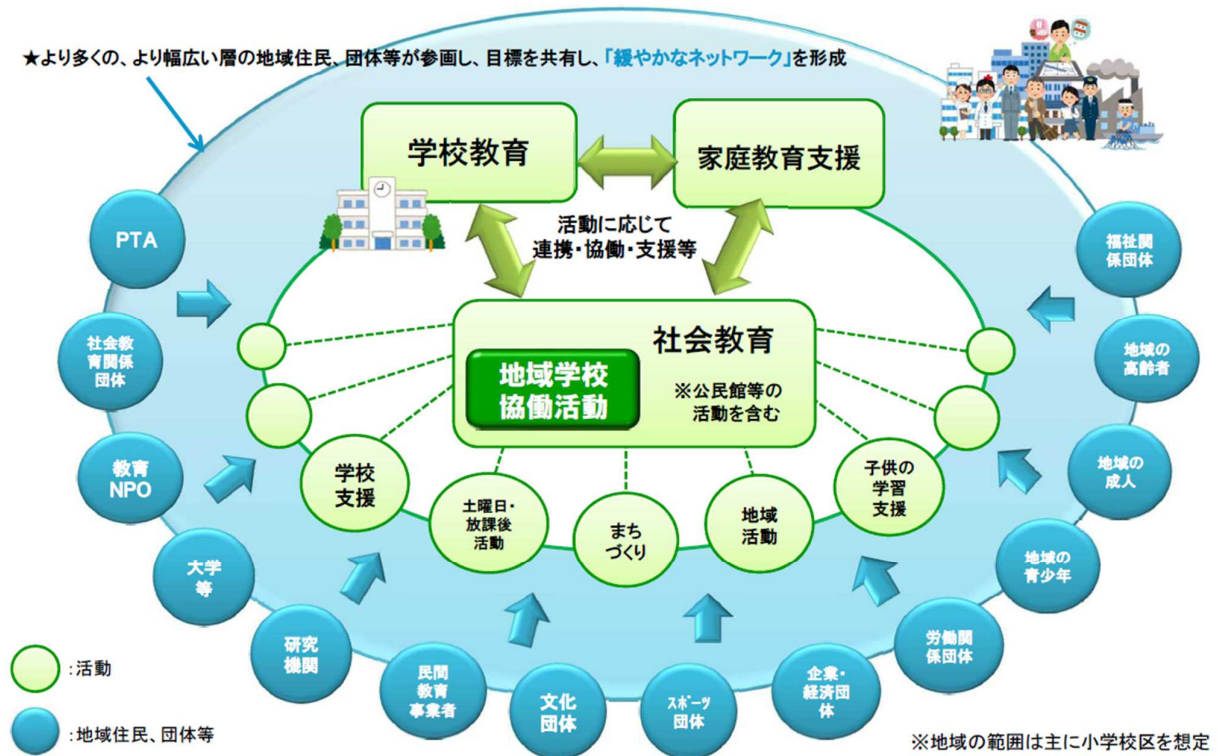
### 地域全体で未来を担う子供たちの成長を支える仕組み（活動概念図）

資料3-3

◎ 次代を担う子供に対して、どのような資質を育むのかという目標を共有し、地域社会と学校が協働。

◎ 従来の地縁団体だけではなく、新しいつながりによる地域の教育力の再生・充実は、地域課題解決等に向けた連携・協働につながり、持続可能な地域社会の源となる。

★より多くの、より幅広い層の地域住民、団体等が参画し、目標を共有し、「緩やかなネットワーク」を形成



## 第2回会議の内容について

- ・ 「子どもの」ではなく、大人も含めて「子どもとの」学びや交流を通じたといった表現も検討できる。
- ・ 実践発表を踏まえると、「子どもの多様な学び」が今後ますます重要になる。
- ・ 物理的な「場」だけでなく、人との出会いといった要素も含めた「場」が様々な子どもたちに必要である。「多様な」という言葉にはそれらが含まれている。

**テーマの方向性としてはこの方向で良い**

## テーマについて

# 子どもの学びを通じた持続可能な地域づくり ～社会教育主事・社会教育士の取組～

## 第2回会議の内容について

- ・ 多様な学び（場作り、連携）
- ・ 子どもとの学び（大人を巻き込む）



**議論のまとめの項目（ポイント）として  
取り入れる**

## 第2回会議の内容について

- ・重要なポイントが三つあると感じた。一つは「場」が存在することであり、次に「混ざる」こと、最後に「変容する」ことである。
- ・「ふるさと教育」などを通じて取り組むことになるが、その中に「場」や「変容」が生まれれば望ましい。このような循環サイクルを増やすためには、コーディネートできる社会教育士の存在が必要である。
- ・大人の先入観や価値観を打破し、変化を促す役割は社会教育主事や社会教育士が担うべきであり、従来の考え方に疑問を投げかけることが変化のきっかけになると感じている。

## 第3回会議における議論の観点

- ①どんな学びを設定すると、  
持続可能な地域づくりにつながるのか。  
(「場」の設定、大人の巻き込み方、外部人材との関わり等)
- ②他課や外部と連携するには、  
どのようなポイントがあるのか。  
(他課(外部)と連携ができた要因は何か)